

絃友会便り

名渡山兼一と絃友会をご支援くださる皆様へ近況報告、

絃友会便りをお届けします。 2015.4.10 No.107

絃友会事務局・新谷 真由美 <http://www.genyu-kai.com>

横浜マラソン 2015



1981年、10キロ・20キロコースでスタートした横浜マラソンが今年初めてフルマラソンを企画。

みなとみらい大橋をスタートし、横浜スタジアム・中華街・三溪園・首都高速湾岸線・山下公園・赤レンガ倉庫など横浜の観光名所を通過しゴールはパシフィコ横浜。

各給水地点で様々な応援パフォーマンスをという試みに、鶴見沖縄県人会・川崎沖縄県人会が賛同し出演依頼を受けた絃友会のポイントは首都高速湾岸線・・・高速道路上です!!!

3月15日午前7時横浜根岸駅集合・・・肌寒い日でしたがスタートから22キロ地点にもかかわらず、三絃の音に合わせてカチャーシーを踊りながら走り去るランナーや、様々な琉装を喜びムービーを映しながら走るランナーに心からエールを送りました。

舞弦鼓・大城康彦研究所

厳戒な警備・万全の備え



高速道路を歩くこと、そこで三絃を奏することは、そうそうありません・・・貴重な経験でした。

首都高速中央分離帯にステージカー!!!



絃友会会員12名、このステージカーで大城康彦先生の研究所の皆さんや舞弦鼓の皆さんなど5団体と共にヒヤミカして参りました・・・。

野村流音楽協会師範・教師免許審査



コザ支部稲福智伸研究所から仕事の関係で上京、関東支部名渡山研究所で5.6年共に学んだ仲宗根弘樹が教師審査合格。

名渡山研究所3人目の野村流音楽協会教師・大島陽子が、3人の子育てと仕事を両立させながら研鑽を重ね師範審査合格。

車の運転免許に例え資格を持ってからが実践、更にさらに勉強しないとイケない・・・名渡山先生の常々の言葉をかみしめ向上するであろう仲間におめでとう!!!



野村流音楽協会
神田米三会長と
名渡山先生



第5回川崎郷土・市民劇「華やかな散歩」舞台稽古



川崎が生んだ詩人・佐藤惣之助の物語。
なぜ又ここで沖縄???と思いつつ台本を読ませていただきました。

大正時代、川崎の富士瓦斯紡績に沖縄から多くの女工さんたちが働きに来たと伝えられています。ウチナーンチュの心を支える踊りを女工さんたちは習い度々公演を開催、佐藤惣之助氏夫妻は幾度も観劇し激励してくださっていた・・・と、私の解釈です。。

惣之助氏の妻花枝さんが病で亡くなり、そのご仏前でお好きだった沖縄舞踊を披露するという数分の場面に、阿波連とも子琉舞研究所・赤嶺精子舞踊研究所・佐久川昌子沖縄舞踊研究所が出演してくださいませ。

南島詩人として沖縄でも親しまれている佐藤惣之助氏の半生を多くの方にご高覧戴きたく願います・・・チケットは、50枚新谷の手元にございます(笑)。

第12回はいさのフェスタ

5月2日から5日、川崎ラチッタデッラで盛大に開催されます。

絃友会は3日出演、応援に来てください!!!

詳しくは・・・<http://lacittadella.co.jp/haisai/>を検索してください。